

大阪編纂所だより

大阪市史編纂所（発行）
〒550-0014 大阪市西区北堀江 4-3-2

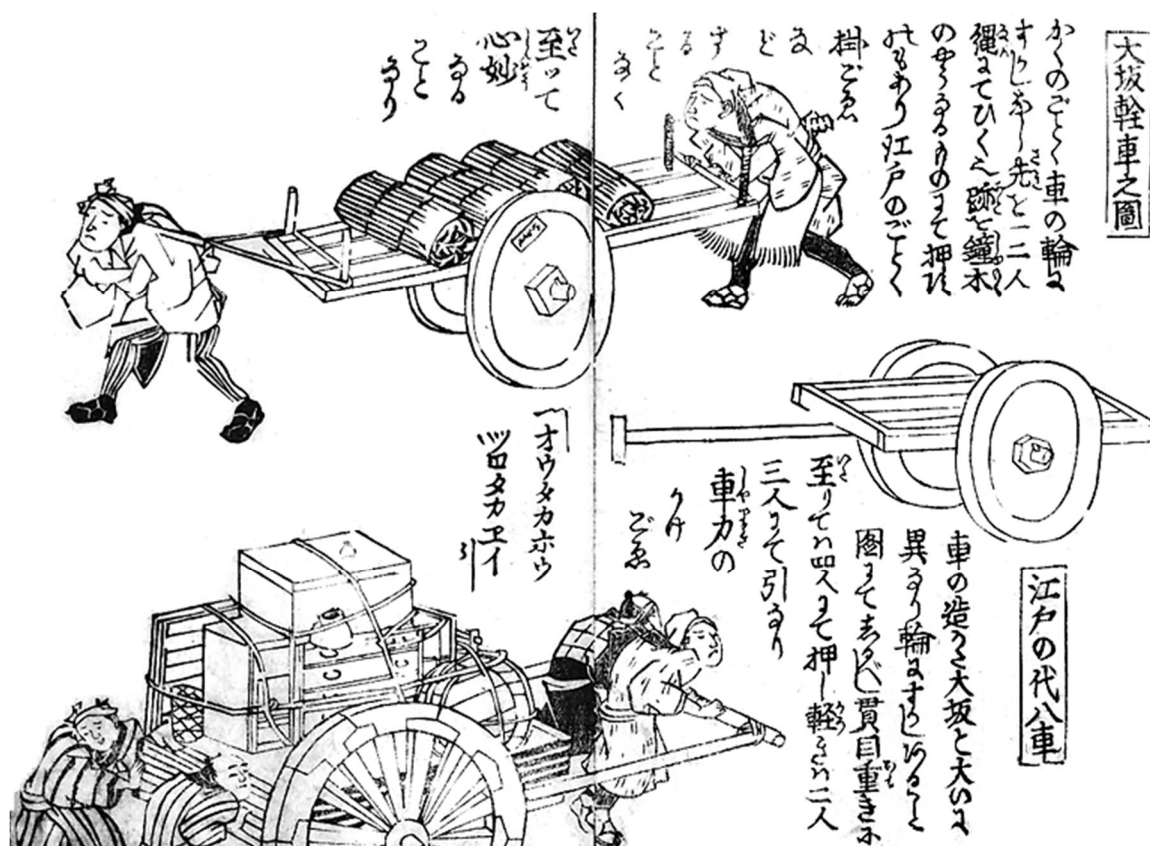
第 65 号

大阪市史料調査会（編集）
大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333

べか車

江戸時代の大坂は水運の発達した水の都市。市内を縦横にめぐる堀川（水路）では、物資を運搬する上荷船や茶船が行き交いました。それでは陸上はどうかというと、「べか車」と呼ばれる人力の荷車（江戸時代版のリヤカー）が活躍しました。同様の荷車は、江戸では大八車になります。

べか車とはいかなるものなのか。大坂出身の喜田川守貞（1810 年～？）著『守貞漫稿』には、「輪は板を以て之を製し、簀子もまた全くに板を張る、長き物二間余、短き物六・七尺、前に一・二条の綱を付け、二・三夫これを曳く、背にも一・二夫在て押遣る、この車は後を楫と云、進退を掌る」とあります。べか車と大八車の違いは、①荷台（べか車＝板材で幅が狭い、大八車＝簀の子状で幅広）、②車輪（べか車＝二枚板造り、大八車＝輻〔スポーク〕がある）、③曳き方（べか車＝綱で曳く、大八車＝引き手で曳く）などです。べか車の荷台の幅が狭いのは、大坂の道路が狭いからとされます。べか車は簡易な造りですが小回りが利き、大八車は頑丈で重量物の移送に便利そうです。



平享銀鷄『街廻り』（上＝べか車、下＝大八車。刊本・天保6年（1835）。大阪市立中央図書館所蔵）。
同館ホームページの「大阪市立図書館デジタルアーカイブ」で閲覧することができます。

18 世紀後半までに登場したべか車は、利便性の高さから増加の一途をたどり、文化元年（1804）には大坂三郷内で 1678 輦を数えました。その利用は、荷主（商人）が所有して商いに使用する場合と、べか車での運送を請負う専門者を雇う場合があります。べか車の賃貸業者も存在しています。

ところが、べか車の利用に強く抗議する者が現れました。大坂の水運を担う上荷船・茶船の船乗組合です。べか車の活動は、彼ら運漕業者の権益と競合しました。とくに問題視されたのが、べか車による橋越えです。べか車による遠距離輸送を阻止する目的で、上荷船・茶船側は、「べか車は荷物を乗せて橋を越えてはならず、荷物は橋のたもとで船に積み替え、対岸に渡すべきである」と主張し、町奉行により承認されています。もともと、この規制はあまり守られなかったようです。橋越えの時だけ車力が荷物を担ぎ、規制のすり抜けを図った事例も見られました（「へか車落着之控」など）。

べか車はその後も、積載物の重量、荷台の長さ、車の数など、様々な規制を受けますが、その利用は衰えることはありませんでした。まずは至極便利な「道具」だったからでしょう。（中村 直人）

明治時代の天保山リゾート開発 ―天保山私立遊園の試み―

天保山（港区）とは、天保 2 年（1831）に実施された安治川の大浚え^{おおざら}によって発生した土砂を積んで造成された築山^{つきやま}です。大坂でも有数の名勝地となりましたが、大坂湾の防衛が図られ砲台が築造された幕末以降、要塞の地と化した天保山から市民の足は遠のいていきました。

明治に入り砲台が撤去されても殺伐とした状況が続くなか、1880 年代後半になってようやく天保山に目をつけその開発を企てたのが、野口茂平^{もへい}（？～1913）でした。富山に生まれ、大坂に出て淡路町堺筋に「立志堂」という薬屋を立ち上げて一財産を築き、のち大阪市議員や大阪商業会議所会員を長くつとめた人物です。

その茂平が発起人・幹事として、西成郡天保町戸長役場内に天保山起業組仮本部を組織し、そこを拠点に天保山リゾート開発計画を練りあげます。いわば官民連携のもと、パンフレット『天保山私立遊園地略図』や小冊子『天保山私立遊園設置^{ついで}に就ての報告』^{ほうぼう}を頒布するなど、開発事業を方々に呼びかけ、その出資者・賛同者を募っていきました。

こうして明治 21 年（1888）4 月、天保山砲台跡地に、欧米式の倶楽部（娯楽場）、海浜院（保養所）、海水温泉場、海水浴場、魚釣場、潮干狩り場から成る「天保山私立遊園」がオープンしました。「遊園」といっても、いまの「遊園地」とは趣向^{しゅこう}が異なり、「歓遊」に加え最先端の医学・衛生的知見を踏まえた海浜サナトリウムを中心とする一大リゾート化が目指されたのです。

明治 21 年に刊行された『大阪市中近傍案内』という名所案内記の天保山の項には、「近時^{きんじ}此^こ処に遊園地ひらけ海水院・掛茶屋等の設置ありて、四時^{しいじ}ともに遊客多し」と記されており、開園当時は賑々しく盛り上がっていたことがうかがえます。

しかしながら、明治 27 年（1894）7 月付で遊園解散の広告が『大阪朝日新聞』に掲載されています。予想外に資金が集まらなかったため維持もままならず、海浜院を「破壊」、それ以外の建造物は「競売入札」にかけることになり、天保山私立遊園は閉園を余儀なくされました（一般に明治 30 年に閉園したといわれますが、これは誤りです）。

いまでこそ、天保山は再開発されたアーバンリゾートゾーンとして、複合型アミューズメント施設

拾蛤廣告

今般當海濱に於て大阪府廳より拜借仕候蛤繁殖處拾貳萬坪の内に於て來る五月より九月まで毎月左記の日限何れも午前十時より潮の都合至極宜しく素人にても容易に拾蛤致され候間各位諸君賑々敷御來濱相願度奉待上候也

拾蛤日	拾蛤日	拾蛤日	拾蛤日	拾蛤日
五月廿三日	五月廿四日	五月廿五日	五月廿六日	五月廿七日
五月廿八日	五月廿九日	五月三十日	五月三十一日	六月一日
六月二日	六月三日	六月四日	六月五日	六月六日
六月七日	六月八日	六月九日	六月十日	六月十一日
六月十二日	六月十三日	六月十四日	六月十五日	六月十六日
六月十七日	六月十八日	六月十九日	六月二十日	六月二十一日
六月二十二日	六月二十三日	六月二十四日	六月二十五日	六月二十六日
六月二十七日	六月二十八日	六月二十九日	六月三十日	七月一日
七月二日	七月三日	七月四日	七月五日	七月六日
七月七日	七月八日	七月九日	七月十日	七月十一日
七月十二日	七月十三日	七月十四日	七月十五日	七月十六日
七月十七日	七月十八日	七月十九日	七月二十日	七月二十一日
七月二十二日	七月二十三日	七月二十四日	七月二十五日	七月二十六日
七月二十七日	七月二十八日	七月二十九日	七月三十日	八月一日
八月二日	八月三日	八月四日	八月五日	八月六日
八月七日	八月八日	八月九日	八月十日	八月十一日
八月十二日	八月十三日	八月十四日	八月十五日	八月十六日
八月十七日	八月十八日	八月十九日	八月二十日	八月二十一日
八月二十二日	八月二十三日	八月二十四日	八月二十五日	八月二十六日
八月二十七日	八月二十八日	八月二十九日	八月三十日	八月三十一日
九月一日	九月二日	九月三日	九月四日	九月五日
九月六日	九月七日	九月八日	九月九日	九月十日
九月十一日	九月十二日	九月十三日	九月十四日	九月十五日
九月十六日	九月十七日	九月十八日	九月十九日	九月二十日
九月二十一日	九月二十二日	九月二十三日	九月二十四日	九月二十五日
九月二十六日	九月二十七日	九月二十八日	九月二十九日	九月三十日

但過券を與ふ

天保山起業組假本部謹白

天保山海濱院通券料

小大人 三五錢

天保山私立遊園發起人兼幹事

野口茂平

天保山起業組假本部

明治二十一年二月

一 天保山俱樂部 樂部 經覽料 小大人 同 爾

一 但茶菓附尤も珈琲を以て代用することあるべし然れど

一 小兒茶菓を附せざるものとす

一 海水浴并に海水温泉浴料 各貳錢

一 海水浴場まで通舟片道金貳錢

一 但海水浴場は勿論其他百般の事は決して不當の金を食ふるか若くは不都合等無之構起業組に於て之れが注意を爲すべし

『天保山私立遊園設置に就ての報告』（部分） 大阪市立中央図書館蔵

を楽しめるベイエリア“天保山ハーバービレッジ”を中心に賑わいを見せています。それとは対照的に、短命に終わってしまいましたが、天保山私立遊園を歴史のあだ花として片づけるのではなく、大阪におけるウォーターフロントリゾートの先駆けとして歴史的に評価することが求められているように思います。

（平良 聡弘）

第五回内国博へようこそ —明治の大博覧会、仮想ガイドツアー—

明治36年（1903）3月1日朝8時の大阪、天王寺。一発の号砲を合図に、3つの門へ一度に数千の人びとが押し寄せました。7月31日まで5ヶ月にわたる、第五回内国勧業博覧会の開幕です。

内国勧業博覧会（以下、内国博）とは、殖産興業を掲げる明治政府主導のもと、国をあげて催された物産品評会のこと。5回目となった大阪会場は、集客効果をねらった余興や大型遊具が初めて導入され、カナダなど18ヶ国も参加した、いわゆる「ミニ万博」となりました。

——皆さん、第五回内国博へようこそ。入場券はお持ちで

すね。それではご案内しましょう。どうですか？広いでしょう。敷地は11万4000坪もあります。座る所が少なくて下駄は疲れますから、草履のレンタルをお勧めします。暑いので日傘もどうぞ。

さあ、パビリオンです。各県選りすぐりの一品が分野ごとに並んでいます。どれもお買い求めいただけますよ。お土産は、各県の売店が便利です。愛知県のを御覧なさい、お城の形です。おもしろいですね。外国商館には、蒸気自動車がありますよ。大阪では、まだここで見られません。カナダ



「正門」（一部改変）
（「第五回内国勧業博覧会刷物集成」）
大阪市立図書館デジタルアーカイブ

館ではパンの実演販売もしています。電気で動く冷蔵庫にできたてのアイスクリーム…もあったのですが、人気過ぎて販売中止になりました。あと人気なのは、「不思議館」です。無線電信機、月世界大映写鏡、活動大写真。人や物が映し出されて、動くんですよ。不思議でしょう？他には、日本初上陸のメリーゴーランドや、エレベーター付きの展望塔（大林高塔）も楽しいですよ。ただし、みなお高いですが。思い出は、流行りの絵葉書に認めて、会場内の郵便局から送みましょう。

お昼になりました。この博覧会には、約 60 軒の飲食店が参加しています。私のお勧めは「親子丼」です。大阪の鳥菊さんが出した新商品なんですが、大評判なんです。ビヤホールやホテルの料理店も、珍しいので人気です。ただし、どこもかしこも割高なのは、博覧会あるあると言うべきか。疲れて休憩するにも、「休憩代」を取られます。今回からトイレも民間参入になりました。「上中下」の「下」以外は有料です。お間違えのないように。でも、たとえお財布の中身が寂しくとも、連なる洋風建築を眺めるだけで、じゅうぶんワクワクできますよ！1 日ではとても廻りきれません。何回でもお越しください。だって、入場料はたったの 5 銭(当時のうどん 1 杯分)なんですから。

それでは、私はこのへんで失礼します。そうそう、週に 3 日は夜間入場もできますよ。涼しいし、



「第五回内国勸業博覧会紀念写真」（一部改変。大林高塔より北西を望む。）
（「第五回内国勸業博覧会刷物集成」）大阪市立図書館デジタルアーカイブ

電飾のイルミネーションがとてもきれいです。ただし施設はどれも閉まっているので、悪しからず。――

駆け足のガイドツアー、いかがでしたか。第五回内国博は、総入場者数 530 万人に達する、当時としては空前の大イベントとなりました。明治の人びとにとって、内国博は、近未来を体験できる、夢の空間だったに違いありません。（白杉 一葉）

刊行物のお求め方法

大阪市史編纂所の刊行物は、大阪市史料調査会で窓口・通信販売をおこなっています。また、下記の書店でお求めいただけます。詳しくは大阪市史料調査会（大阪市立中央図書館 3 階・大阪市史編纂所内 TEL 06-6539-3333）までお問い合わせください。

取り扱い書店―― ジュンク堂書店（大阪本店、難波店）
紀伊國屋書店（梅田本店 *『大阪の歴史』最新刊のみ）

■「編纂所だより」は、年 2 回発行しています。

さまざまな歴史の話題や日々の活動などを、みなさんにわかりやすくお届けする、ニュースレターです。

大阪市立各図書館のほか、各区役所、各区民センター、市役所市民情報プラザ、総合生涯学習センターおよび各市民学習センター、大阪歴史博物館、大阪城天守閣、住まいのミュージアムなどに置いています。大阪市立中央図書館（3 階大阪コーナー）および各区の図書館では最新号を常備していますので、カウンターでおたずねください。

■大阪市史編纂所では、ホームページを開設しています。

催し物や刊行物のご紹介をはじめ、今日、大阪でどんな出来事があったかを知る「今日は何の日」、全国の図書館に寄せられた「おおさか」に関する質問にお答えする「みんなの質問」など、市域の歴史に関する情報を発信しています。「編纂所だより」もカラー版で閲覧・ダウンロードしていただけます。ぜひ、ご覧ください。

https://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=871 または「大阪市史」で検索してください。

（令和 7 年 9 月発行）